



京都府立 府民の森 ひよし



指定管理者 株式会社 設計京北
代表取締役 野村 武

1 はじめに

京都府立府民の森ひよしは、日吉ダム建設に伴い策定された「日吉ダム水源地域再建実行計画」の中で、「里」「山」「水」「森」のゾーンのうちの「森のゾーン」として整備されました。

場所は、京都府の中心に位置し、J R嵯峨野線（山陰線本線）京都駅から約1時間の日吉駅で下車し、市営バスで15分の場所にある、約128haの面積を有した京都府立の森林公園です。

平成12年4月に“府民参加の森づくり”を基本コンセプトにして開園し、「森の広場」、「観察の森」、「体験の森」、「散策の森」の4つのゾーンに分けられています。

2 施設の紹介



森の広場

公園の中心部に位置する、広さ13haの森の広場には、森の資料館や南丹市立日吉町郷土資料館、木工研修館などの学習施設と、キャビン、キャンプ場などの宿泊施設、他にドッグラン、芝生広場があり、目的に合わせた思い思いの時間を過ごすことができます。

また、広場では、コンサートや三輪車耐久レースなど、多くのイベントを開催しており、府民の皆様をはじめ、近畿圏から多くの方々が来園されています。



サンサン祭り(三輪車耐久レース)



ペレットストーブ

森の資料館では、森に棲む動物や昆虫をパネルや標本で紹介したり、森のはたらきをジオラマや情報ライブラリーなどでわかりやすく展示しています。木製ペレットストーブ

や、ペレット製造器の展示もしており、バイオマスエネルギーについても学ぶことができます。

このように、来園された多くの皆様に、京都府の森林の状況や働きをPRしています。



キャンプ場

宿泊施設は、メインキャビン（定員25名）、サブキャビン（4名）があり、メインキャビンはグループで、サブキャビンは家族で多く利用されています。

夏休みには、ボーイスカウト等多くの団体が体験学習の場としてキャンプ場を利用され、山の散策やバードウォッチング、飯ごう炊飯、キャンプファイヤー等で自然を満喫されています。

木工研修館では、京都府内産の板や木材を使って、キーホルダーやCDラックなどいろいろな物を作ることができます。機械を初めて使う方でも安心して体験していただけるよう指導員を配置しているので、ゴールデンウィークや夏休みには親子で工作をする姿が多く見られます。



木工体験



日吉町郷土資料館では、日吉町に古くから伝わる民具、歴史的な品々や日吉ダムの建設に伴い移設された茅葺き民家が展示されています。また、いろいろな企画展や茅葺き民家のかまどを使ったイベントが開催されています。茅葺き民家は2棟移築されており、昭和30年代当時の生活されていた様式で再築されています。かまどや土間、馬屋、いろり等があり、当時の生活の様子を学習できます。

散策の森・観察の森は舗装された散策路で、ベビーカーや車いすの方も森の中を散策できるように整備されており、野鳥や樹木の観察、季節に合わせて山桜やツツジ、藤の花など様々な山野草が迎えてくれます。また、体験の森では、間伐体験や植樹等ができます。



体験の森

3 府民の各種団体の活動

府民の森ひよしでは、府民の森ひよし森林倶楽部やツリークライミング® クラブ森遊隊が活動しています。

府民の森ひよし森林倶楽部は、府民の森ひよしで開催された森林ボランティア養成講座を受講されたメンバーを中心として、毎月第3日曜日に府民の森内で森林整備や植生調査を行っています。また、昭和40年代にたくさんあった「炭窯」を復元し、炭焼の技術を伝承する活動も行っています。

ツリークライミング® クラブ森遊隊は、京都府の補助を受け、インストラクターの養成と機材の購入を行い、府民の森ひよし・山村都市交流の森くちかんぼやし・口上林里山楽しみ隊・京都府と連携して活動しています。

ツリークライミングとは、専用のロープやサドル、安全保護具を利用して木に登るもので、毎月第1土曜日に府民の森ひよしで体験会を定期開催しているほか、要請があった他の施設での体験会も行っています。



森林整備



ツリークライミング

4 さいごに

府民の森ひよしは、平成12年に開園以来、今年で14年目を迎えました。その間、多くの方がキャンプや散策、イベントに参加され、自然いっぱいの施設の中で楽しい思い出を作られました。

府民の森ひよしの森づくりにも多くの方に参加していただき、植樹や木工体験等を通して、森の役割、大切さを伝えることができたと思います。

施設の管理は、7年前から指定管理制度が導入され、現在に至っています。年間5万人弱の方々に利用していただいておりますが、開設された目的に沿って今後も多くの方々に親しまれる施設として、運営していきたいと考えています。